

看護師特定行為研修の内容

2022 年度

(1) 共通科目 (必修科目)

科目	時間数			
	講義	演習	実習+評価	合計
臨床病態生理学	29	1	1	31
臨床推論	26.5	16	2.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	2	25.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5	1	45
疾病・臨床病態概論	37	3	1	41
医療安全学/特定行為実践	22.5	17	5.5	45
合計	165	50.5	34.5	252

(2) 区分別科目

1) 術中麻酔管理領域パッケージ (8行為) 合計: 70 時間

特定行為区分	特定行為	術中麻酔管理領域パッケージ (8行為)	時間数 (講義 e-learning + 演習)
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	9時間 (OSCE)
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	17時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	/	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	/	
	人工呼吸器からの離脱	○	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	○	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	/	11時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	8時間
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	/	12時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	/	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	/	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	/	

2) 在宅基本コース（2区分3行為） 合計：32時間

※対象：訪問看護師のみ

特定行為区分	特定行為	在宅基本コース (2区分3行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	16時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	○	16時間

3) 病棟基本コース（3区分5行為） 合計：36時間

特定行為区分	特定行為	病棟基本コース (3区分5行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
栄養に係るカテーテル管理（中心 静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	7時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	○	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与 関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	16時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	

4) オプション：重症管理（3区分10行為） 合計：66時間

特定行為区分	特定行為	OP重症管理 (6区分15行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブ の位置の調整	○	9時間 (OSCE)
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	29時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静 薬の投与量の調整	○	
	人工呼吸器からの離脱	○	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	28時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はク ロールの投与量の調整	○	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	○	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与 量の調整	○	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	○	

5) オプション：ドレーン管理（2区分2行為） 合計 13 時間

特定行為区分	特定行為	OPドレーン (2区分2行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
腹腔ドレーン管理	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された 穿刺針の抜針を含む）。	○	8 時間
創部ドレーン管理	創部ドレーンの抜去	○	5 時間

6) オプション：血糖管理（1区分1行為） 合計 16 時間

特定行為区分	特定行為	在宅基本コース (2区分3行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
血糖コントロールに係る薬剤投与 関連	インスリンの投与量の調整	○	16時間

特定行為研修の流れ



● 共通科目



● 区分別科目

